

仮設住宅の継続的な支援の実践 in 釜石

(1) 研修場所

岩手県の釜石市を訪問した。

(2) 国内研修の目的

私は昨年8月、10月と2回釜石市を訪問したことがある。1回目の活動は釜石市にある甲子地区の仮設住宅訪問と、住民の意見交換会への参加だ。2回目の活動は再度住民の意見交換会の参加と、仮設住宅の自治会の会長の方など仮設住宅での代表者の方々にヒアリング調査をすることだ。そして今回3回目の活動は仮設住宅の住民の方が参加できるイベントのお手伝いと、私たちが発行した仮設住宅の情報誌を見てもらい、アドバイスをしてもらうことだ。仮設住宅の情報誌とは、仮設住宅同士のイベントカレンダーを載せたり、私たちが考えた記事を掲載し、それを読んで意見をもらうことだ。第1回、第2回での活動を通して、私たちは、この釜石市での活動に「仮設住宅の持続的支援」という目標を立てた。なぜその目標を立てたかということ、2011年3月11日に起こった東日本大震災の支援的活動が、風化しつつある現状を仮設住宅の住民の方々の意見交換会の中で耳にしたからである。そこで、実際の東北でのボランティア活動の現状を調べてみると次のような表が見つかった。(表-1) この表を見るとボランティア活動の総数が震災当初にくらべかなり減っているのが明らかであろう。確かに震災当初より、がれき撤去などの体力的な支援は減ってきているであろう。しかし、まだまだ復興が全体的に遅れていることに加え、私たちが今回活動した釜石市では、まだ岩手県の中でも被害が甚大ではない方だろうだが、他の地域(岩手県陸前高田など)はまだ他の地域との復興の差があり、復興が遅れていると交流会のときにお聞きした。

そして、今、必要となっている支援はソーシャルサポートの再構築だということをお聞きした。釜石市では仮設住宅から復興住宅へと移る準備が今、進められている。それは1度作られた仮設住宅でのコミュニティが一度無くなり、また復興住宅で新しくコミュニティを作らなくてはならないということである。そこで今できることは、今住んでいる仮設住宅でイベントなどを開き、住民同士が絆を深め、復興住宅に移った時お互い助け合えるような関係づくりをすることと、他の仮設住宅の情報を少しでも住民たちが知っている必要があると私たちは考えた。

そのことから、今回の活動では昨年の年末に行われた釜石市にある甲子 B 地区の仮設の餅つきイベントに参加させて頂き、お手伝いをさせて頂いた。それに加えて、事前に甲子地区に4つ(A・B・C・D 仮設と呼ばれている)ある仮設住宅のイベントカレンダーと、私たちが調べた他の地域での地域づくりの活動や、釜石市を訪問してのコラムなどを書いたものを情報誌(新聞のようなもの)にしてまとめ、他の地区の仮設住宅のことを知ってもらうことに加え、住民の方に情報誌に興味をもって読んでもらえるような工夫をし、B地区の自治体方々にお見せした。

表-1 災害ボランティアセンターで受け付けたボランティア活動者数の推移

	3県合計	岩手県	宮城県	福島県		3県合計	岩手県	宮城県	福島県
平成23年3月	63,900	12,100	31,400	20,400	平成25年3月	12,600	4,700	6,700	1,200
平成23年4月	162,200	34,700	98,500	29,000	平成25年4月	9,800	3,000	6,200	600
平成23年5月	182,400	46,000	102,000	34,400	平成25年5月	11,200	3,700	6,100	1,400
平成23年6月	143,500	42,200	78,800	22,500	平成25年6月	11,400	3,700	5,700	2,000
平成23年7月	131,600	46,400	68,500	16,800	平成25年7月	11,600	3,800	6,100	1,700
平成23年8月	101,500	48,200	44,100	9,200	平成25年8月	12,200	5,100	5,300	1,800
平成23年9月	63,700	36,400	23,900	3,400	平成25年9月	12,800	5,000	6,000	1,800
平成23年10月	51,400	25,500	21,900	4,000	平成25年10月	10,100	3,800	4,700	1,600
平成23年11月	38,600	19,900	16,400	2,300	平成25年11月	9,400	2,800	4,800	1,800
平成23年12月	19,500	9,100	8,500	1,900	平成25年12月	6,300	2,100	3,100	1,100
平成24年1月	12,800	5,600	6,000	1,200	平成26年1月	3,800	1,100	1,800	900
平成24年2月	18,300	7,900	9,100	1,300	平成26年2月	4,600	1,500	2,400	700
平成24年3月	32,100	13,500	16,700	1,900	平成26年3月	7,900	3,000	3,400	1,500
平成24年4月	21,600	10,400	9,900	1,300	平成26年4月	6,600	1,900	3,800	900
平成24年5月	25,200	11,900	11,600	1,700	平成26年5月	7,800	3,000	3,300	1,500
平成24年6月	26,600	13,700	11,200	1,700	平成26年6月	7,800	2,900	3,500	1,400
平成24年7月	22,300	10,500	10,300	1,500	平成26年7月	8,500	3,000	3,800	1,700
平成24年8月	29,700	15,900	11,700	2,100	平成26年8月	9,700	3,300	4,500	1,900
平成24年9月	25,200	12,900	10,600	1,700	平成26年9月	8,100	3,300	3,300	1,500
平成24年10月	19,000	8,200	9,800	1,000	平成26年10月	7,000	2,700	3,000	1,300
平成24年11月	15,300	6,900	7,100	1,300	合計（平成26年10月31日まで）	1,406,500	510,100	705,700	190,700
平成24年12月	9,700	4,300	4,700	700					
平成25年1月	4,700	1,700	2,600	400					
平成25年2月	6,400	2,800	2,900	700					

(<http://www.saigaivc.com/%E3%83%9C%E3%83%A9%E3%83%B3%E3%83%86%E3%82%A3%E3%82%A2%E6%B4%BB%E5%8B%95%E8%80%85%E6%95%B0%E3%81%AE%E6%8E%A8%E7%A7%BB/>)

全社協 被災地支援・災害ボランティア情報 HP より

(3) 活動を通し気づいたこと・課題

まず、餅つきイベントに関しては結果的には成功したという印象であった。

なぜかという、まず、プログラム全体に滞りがなく行われたことと、多くの方がイベントに参加して下さったことが挙げられる。今回の餅つきイベントはお餅をついて食べるだけではなく、お餅食べながら獅子舞や尺八の演奏（ゲストをお呼びした）、住民の有志の方々の合唱も同時に楽しめるものに企画した。そのことから事前に伺っていた、イベントを開くときの課題点としてあった、『食べ物をもたらしてしまうとそれを家の中で食べてしまい、住民同士の交流ができない』という点は解決できたと思われる。また、数は5～6人であったが仮設住宅にお住いのお子さんもイベントに参加し、一緒に獅子舞に参加し、ワークショップ形式で太鼓が体験できる時には前にでて楽しそうに太鼓を叩いている姿を見ることができたりと、お子さんにも参加しやすいイベントになり、また、仮設住宅に住んでいらっしゃる高齢者の方はその姿を見て笑みを浮かべていた。自治体の方々から「子供がいると、ご近所さんみんなで気かけ、共通の話題もできるため（新米のお母様へみなさんでアドバイス等をするなど）仮設住宅全体が元気になる」というお話を聞いていたので、これからどうお子さんがいる家庭の方々イベント等に参加してもらえるか、また、仮設住宅で安心して子育てができるような環境づくりをするのかが課題になってくるだろう。

また、もともとB仮設は高齢者の数が多いのだが、比較的若い世代（20代～40代）のイベントの参加率が低いことも課題として挙げられる。今までも若い世代のイベントへの参加率は低いと伺っていたが、今回私たちが参加したイベントでも同様に、ほとんど若い世代の方々は見られなかった。若い世代の方々働き盛りで、あまり家に居ないことが多く、ご近所さんとのコミュニケーションがとれないというのが現状だそうだ。そのことから、若い人たちが積極的に参加できるイベントを開催する必要があると感じた。それは私たち大学目線でも考えられることだと思うので、大学で今回の参加者で情報共有・意見出しをしながらイベントの種類提案をしていくことが必要だと感じた。

次に、情報誌に関してはまだまだ改善が必要であると実際に自治体の方々のご意見をもらい感じた。今回の情報誌では、

- ・学生の紹介
- ・釜石のコラム（私たちがなぜ釜石に関わらせていただくようになったのかについての経緯が載っているコーナー）
- ・甲子地区イベントカレンダー（甲子地区のイベント情報がA・B・C・D仮設全て一緒に載せられているコーナー）
- ・地域×学生（この新聞に携わっている学生が、大学でどんなことを学んで、また学外でどんな活動をしているのかを釜石甲子仮設の皆さんに知ってもらうために設けたコーナー）
- ・応援魂（法政大学が他に行っている被災地支援活動の紹介。被災地のことを思いつづけ、支援がしたいと考えている学生達がいることを伝えようと設置したコーナー）

・絵本紹介（仮設の子どもたちの本に触れる機会を増やしたいと考え、子どもの読みやすい絵本を紹介するコーナー）

・法政大生が選びました（インターネットが広く普及している今、それを使って簡単に息抜きをしてもらうために、面白い動画を選んで紹介するコーナー）

の7つの記事を本物の新聞のようにレイアウトしてA3用紙に印刷し、お渡しした。

また、これから載せることを検討している記事の、甲子地区のゴミ出しカレンダー、四コマ漫画、甲子地区で行ったイベントについての記事、料理レシピ紹介、東北地方で活躍している人についての記事、リレーインタビュー（仮設内でのインタビュー記事）についても載せることについてご相談した。

その結果、大体の記事についての評価は良かったのだが、法政大生が選んだ動画を載せるコーナーでは、高齢者の方が多く、あまりネットを使う人が多くないかもしれない、という意見を頂いた。また、新聞全体のレイアウトに関してもう少し字が大きいものでないと高齢者の方が読みづらい、という意見も頂いたので私たち目線で「これくらいの字で良いだろう」と納得するのではなく、実際に読んでもらうことの必要を感じた。また、大学生の私たちが何を考えているか、また仮設住宅に住んでいる住民の方々は何をを考えているかについて自治体の方々には強く知りたがっていたので、リレーインタビューの記事をさらに付け加えていくことを考えている。

（5）活動全体を通して

今回、岩手県釜石市に訪問するのは3回目だが、行くたびに釜石市のみなさんの温かさと強さを感じる。仮設住宅というストレスの多い環境のなかお互い助け合い、そのような中でも温かな笑顔で私たちを迎えてくれる姿にはいつも精神的な強さを感じる。そのような住民の方々にいつも逆にやる気ももらっているので、活動を継続していく中で、お役に立てることを多く見つけ、恩返しができるようにしていきたい。

（6）参考

全社協 被災地支援・災害ボランティア情報 HP

[\(http://www.saigaivc.com/%E3%83%9C%E3%83%A9%E3%83%B3%E3%83%86%E3%82%A3%E3%82%A2%E6%B4%BB%E5%8B%95%E8%80%85%E6%95%B0%E3%81%AE%E6%8E%A8%E7%A7%BB/\)](http://www.saigaivc.com/%E3%83%9C%E3%83%A9%E3%83%B3%E3%83%86%E3%82%A3%E3%82%A2%E6%B4%BB%E5%8B%95%E8%80%85%E6%95%B0%E3%81%AE%E6%8E%A8%E7%A7%BB/)